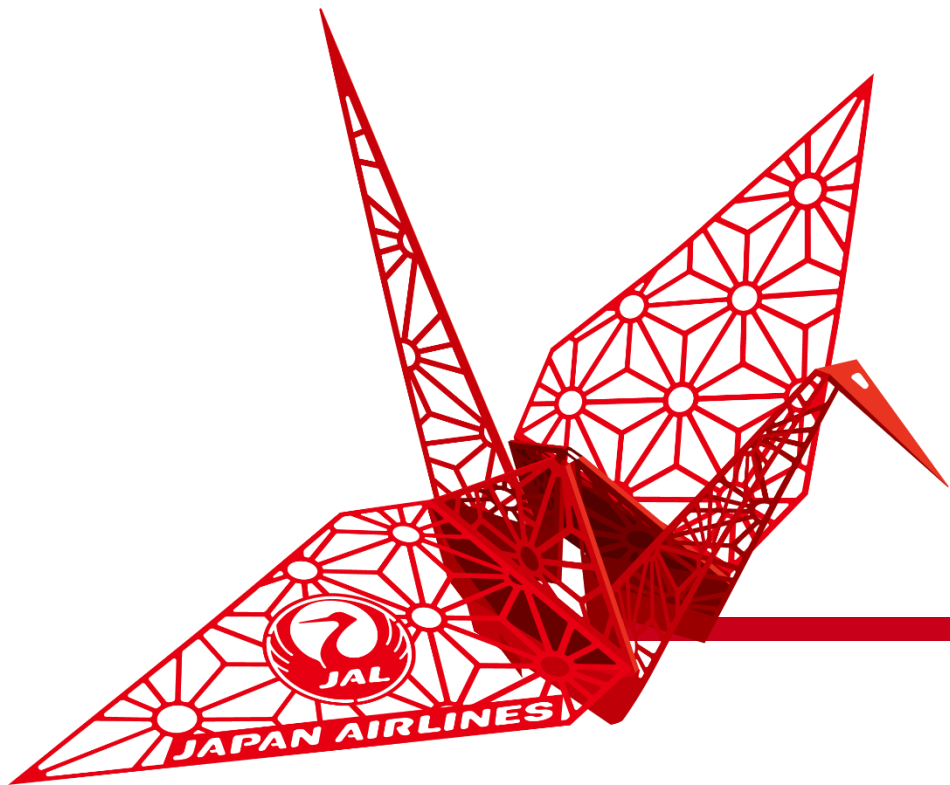




JALグループにおけるSAFの認知度向上 利用促進に向けた取り組みについて

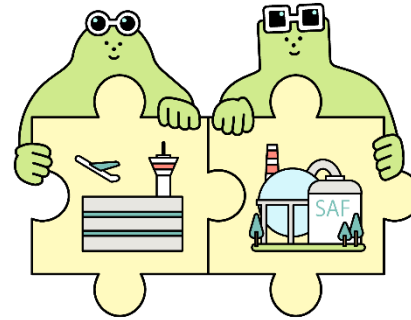
日本航空株式会社 ESG推進部長
小川 宣子
2025年1月31日

社会の皆さまと一緒にサステナビリティを推進（#かくれナビリティ）

POPなキャラクターとメッセージで社会の機運醸成にチャレンジ



空港内のサイネージでも周知



自分ゴト化できるコミュニケーション♪



機内でもご紹介



YouTubeでもご紹介

生活者に向けたSAFの認知向上への取り組み

お客さまと共に作る、持続可能な国産航空燃料「すてる油で空を飛ぼう！」

2025年1月末時点
計32か所で展開中

各自治体との連携

- 脱炭素に向けた資源循環促進の取組みを市民へ根付かせていくこと
- 廃食油のSAF化の一連の仕組みの構築及び社会実装に関すること
- 廃食油のSAF化についての市民への広報・普及啓発に関すること

⑤航空会社により
CO₂排出量抑制のために
SAFを使用する

廃食油の回収
リサイクルの流れ

①各ご家庭にて
専用の回収ボトルで
使用済み食用油をためる



②スーパー等の回収拠点の店舗にて
お買い物ついでに回収ボトルを持っていき、
店舗設置の回収ボックスに廃食油を流し込む

JAL社内でも回収BOXを設置



2階 エントランス付近



25階 カフェ付近

④SAF製造事業者により
廃食油を原料としてSAFを製造する

課題

- 廃食油が利活用できることを知らない
ペットボトルやトレイなどのように、習慣化されるまで時間がかかる
- SAFの認知度が低い
飛行機を利用しない方には身近ではない
- 興味を持つ人が限定的
誰もが参加できる取組みではないため、サステナブルな意識統一をはかることが難しい

③廃食油回収事業者により
店舗の回収ボックスに集めた廃食油を
SAFの製造工場に運搬する

法人企業向けのSAF利用促進の取り組み (JAL Corporate SAF Program)

SAFを活用することにより創出される CO₂削減の環境価値を証書化し、
JAL便をご利用の法人のお客さまに提供する新たな事業

1. SAF製造・供給

供給事業者から購入したSAFによる
CO₂削減量を算出してデータ管理

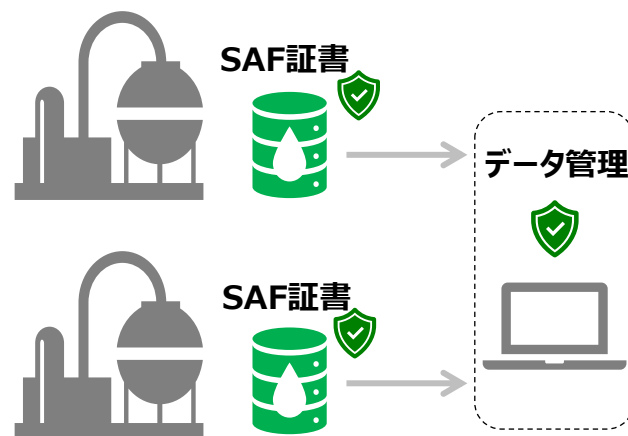
2. SAFの使用 (CO₂削減 = 環境価値発生)

SAFの活用によるCO₂削減の環境価値を
第三者機関の認証を受けた証書として発行

3. 環境価値の販売

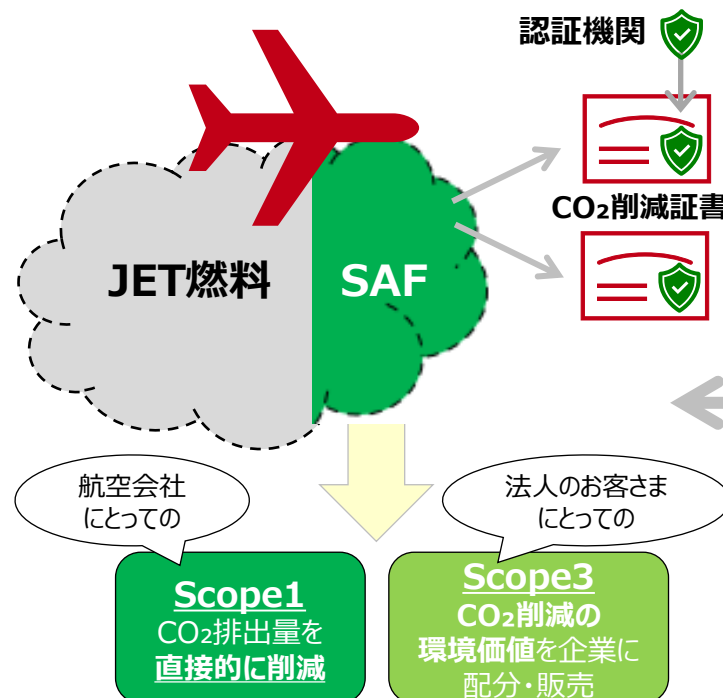
航空利用実績よりCO₂排出量を可視化し、
CO₂削減証書を希望する企業に販売

SAF供給事業者



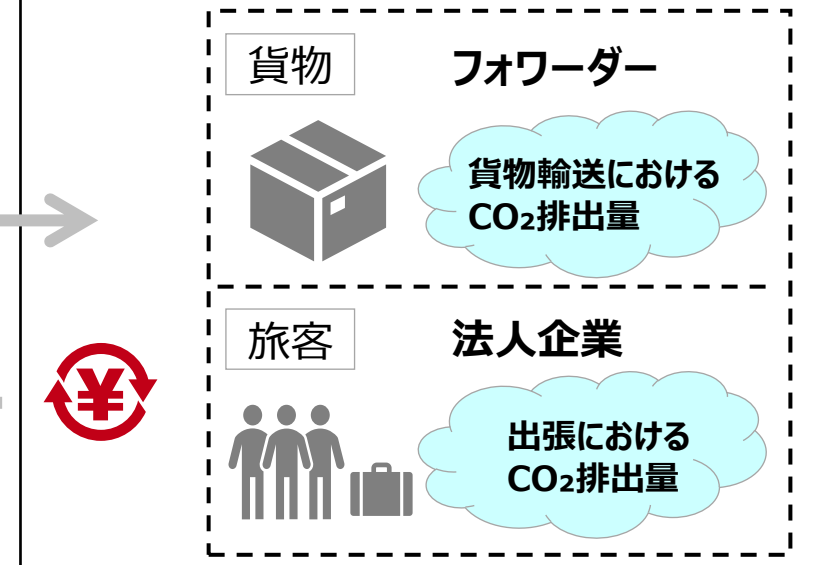
J A L

Scope1 CO₂を直接的に削減



法人のお客さま

Scope3 CO₂を間接的に削減



業種を超えた企業7社での「SAF利用促進プロジェクト」
・成田空港で「Scope3環境価値」取引の実証試験を実施中

BtoC

- サステナビリティを自分ゴトとして感じれるコミュニケーションを社会の皆さまとともに創り上げていく。

BtoC

- SAFの認知度が圧倒的に低い。まずはSAFが市民権を得ることが必要。

BtoB

- Scope3環境価値の販売を通じて、カーボンインセットの価値を浸透させていくとともに企業の皆さまと市場を創っていく



どちらかに偏ることなく、BtoC・BtoB両輪でSAF利用促進に繋がる土壌づくりを地道に取り組んでいくことが必要。
SAFが広く認知され、当たり前になる世界を皆さまとともに創っていく。



明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES